



宮前だより

令和 8 年 1 月 30 日

2 月号

荒川区立尾久宮前小学校

校長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

春の訪れ

校長 岩崎 昇

2月となりました。1年で最も寒い月です。1月の下旬から今季最強寒波が襲来し、日本海側が大変な大雪に見舞われていることは皆さまご存じのことと思います。一方、太平洋側では乾燥注意報が連日発令し、火災が危ぶまれている状況です。乾燥すればウイルスも増殖し、流行が心配されますので、学校では引き続き感染症対策を行っているところです。

この寒い時期に寒さに耐えながら咲く花があります。その中で、春の訪れを知らせる花として梅の花があげられます。梅は百花の魁（さきがけ）と言われ、寒い冬を耐え忍んで春の訪れを知らせる花と言われています。そこで、梅を使った俳句を学校図書館で調べてみました。

○「梅が香に のっと日の出る 山路かな」（松尾芭蕉）

→ 梅の香りがただよう山道で 朝日がゆっくりと昇ってきます

○「梅一輪 一輪ほどの 暖かさ」（服部嵐雪）

→ 梅の花が咲いているのを見て、ほんの少しだけ春が近づいたような暖かさを感じます

春に向けて、梅、そして桃が咲き、風景が明るくなって暖かな風が吹くともう春です。桜が咲くころには皆、新たなステージが待っています。子どもたちは学年が上がり、6年生は中学校が待っています。この寒い時期、花のようにじっとこらえて咲くように、子どもたちが学習のまとめをして、次の学年を気持ち良く迎えられよう、教育活動を進めていきます。

さて、1月の全校朝会で絵本「花さき山」を読み聞かせしました。誰かが良いことをすると、色とりどりのきれいな花が一輪ずつ山に咲いていくというお話です。3年生の教科書に紹介されている本です。1～2月、世間は激動していますが、学校では子どもたち一人ひとりのやさしさで温かくなり、きれいな花で満開にさせていきたいと呼びかけました。

今年度も残り2ヶ月となりました。引き続き本校へのご支援とご協力をお願いいたします。

席書会を終えて

書写主任

1月の初旬に「席書会」を実施しました。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆です。

姿勢を正し、いつもよりゆっくりと、一文字一文字丁寧に書く子どもの様子が見られました。集中して書く姿はとても凛々しく見え、一人ひとりの成長を感じられる時間になりました。

1/17(土)書き初め展保護者鑑賞日には、たくさんの保護者の方にご参観いただき、ありがとうございました。

2月の予定



日	曜	時 程	行 事
1	日		
2	月	A	全校朝会 短縄旬間始
3	火	B	新1年保護者会
4	水	B	4時間授業
5	木	A	音楽朝会
6	金	B	安全指導 身体測定(6年)
7	土	B	オープンスクール 鮭出前授業(5年) PTA 学年行事(6年)
8	日		
9	月	A	全校朝会
10	火	B	
11	水		建国記念の日
12	木	A	縦割り班活動 5時間授業
13	金	B	短縄旬間終
14	土		
15	日		
16	月	A	全校朝会 クラブ
17	火	B	
18	水	B	幼保小中交流会 1・2年 4時間授業 3・4・5・6年 5時間授業
19	木	A	児童集会
20	金	B	鮭の交流事業(稚魚放流 鮭川 村にて)(5年代表児童)
21	土		鮭の交流事業(稚魚放流 鮭川 村にて)(5年代表児童)
22	日		
23	月		天皇誕生日
24	火	B	認知症サポート授業(6年)
25	水	B	
26	木	A	給食委員会発表
27	金	B	6年生を送る会
28	土		

2月の避難訓練は予告なしです

尾久宮前小 ホームページ

携帯電話からも閲覧できます。

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/OGUMIYAMAE-E>



短縄旬間について

1月から体育の学習で短縄を行ってきましたが、2月2日(月)から2月13日(金)まで、学校全体で短縄に取り組みます。期間中は中休みに検定を実施します。なわとびカードの級に合格できるよう練習を重ね、検定を通じて、より多くの技を身につけ、昨年の自分よりも成長を実感できる機会にしたいと思います。



6年生を送る会について

2月27日(金)に、6年生を送る会があります。体育館に全学年が集まり、6年生に心を込めて出し物を披露します。在校生と卒業生がお互いに感謝の気持ちを伝えあう機会にしたいと思います。

学校評価アンケートについて

今年度も学校評価アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。本校は昨年度に引き続き「子どもはダイヤモンド」をスローガンに掲げ、昨年度保護者の皆様よりいただいた学校評価アンケートの結果等をもとに学校運営に取り組んでまいりました。結果につきましてお知らせいたします。

昨年度と比較可能な20の項目のうち、17の項目で昨年度よりも肯定的評価が多くなりました。特に「教育目標・方針」「児童・生徒理解」「分かる授業」「情報教育」「相談への対応」「地域との連携」「意見の反映」の項目では昨年度よりも大幅な(+7%以上)高評価をいただきました。一方、20のうちの残り3項目「学習習慣(-2.9%)」「学校図書館の活用(-1.7%)」「教育相談(-1.9%)」では昨年度を下回りました。今年度の課題ととらえ、対応策を考え、実施していきます。今年度は新設した5項目を含め、大変よい評価をいただきました。教職員一同これを励みにし、これからも子どもたち一人ひとりの可能性を信じ、磨いてまいります。

